

オペレーションマニュアル



HALION SYMPHONIC ORCHESTRA



Matthias Klag, Michael Ruf

Cristina Bachmann, Heiko Bischoff, Lillie Harris, Christina Kaboth, Insa Mingers, Matthias Obrecht, Sabine Pfeifer, Benjamin Schütte, Marita Sladek

この PDF マニュアルでは、目の不自由な方のための高度なアクセシビリティ 機能を提供しています。このマニュアルは複雑かつ多くの図が使用されているため、図の説明は省略されていることをご了承ください。

本書の記載事項は、Steinberg Media Technologies GmbH 社によって予告なしに変更されることがあり、同社は記載内容に対する責任を負いません。本書に掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。本書で扱われているソフトウェアは、ライセンス契約に基づいて供与されるもので、ソフトウェアの複製は、ライセンス契約の範囲内でのみ許可されます(バックアップコピー)。Steinberg Media Technologies GmbH 社の書面による承諾がない限り、目的や形式の如何にかかわらず、本書のいかなる部分も記録、複製、翻訳することは禁じられています。本製品のライセンス所有者は、個人利用目的に限り、本書を 1 部複製することができます。

本書に記載されている製品名および会社名は、すべて各社の商標、および登録商標です。詳しくは、www.steinberg.net/trademarks をご覧ください。

© Steinberg Media Technologies GmbH, 2019.

All rights reserved.

HALion Symphonic Orchestra_1.0.0_ja-JP_2019-11-03

目次

4	HALion Symphonic Orchestra
4	「Main」 ページ
7	「Options」 ページ
8	キースイッチの割り当て

HALion Symphonic Orchestra

HALion Symphonic Orchestra は、シンフォニーオーケストラのあらゆる楽器を再現するバーチャルインストゥルメントサウンドセットです。

「Main」 ページ

「Main」 ページでは、エクスプレッションを選択したり、キースイッチ、ボイスとピッチ、およびアンプの設定を行なったりできます。

- このページを開くには、ウィンドウの右上にある「Main」 ボタンをクリックします。



編集を容易にするために、HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set には定義済みのコントロールセットが用意されています。左上のリストには、レイヤーに使用できるエクスプレッションが表示されます。通常、1つのエクスプレッションはインストゥルメントの特定の演奏スタイルを表わします。ウィンドウ下部のセクションには、「Voice & Pitch」と「Amplifier」の設定があります。

「Expressions」 セクション

「Expressions」 リストには、「On」、「Expression」、「Sw」、「Mute」という4つのコラムがあります。

- エクスプレッションをロードするには、「On」コラムで対応するチェックボックスをオンにします。

補足

- 個々のエクスプレッションをオフにすることで、RAMの使用量を減らすことができます。
 - ロードしたエクスプレッションのみを使用できます。
-
- 「Expression」コラムには、エクスプレッションの名前が表示されます。
 - 「Sw」(キースイッチ)コラムには、選択したキースイッチモードに応じてさまざまなコントロールが表示されます。

初期設定では、エクスプレッションに割り当てられている内部キースイッチが表示されます。

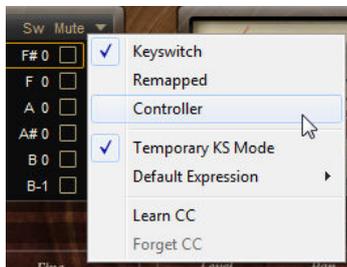
- 「Mute」 コラムで対応するボタンをオンにすると、エクスプレッションが再生されなくなります。ボタンを再度クリックするとエクスプレッションが聴こえるようになります。

キースイッチ

HALion Symphonic Orchestra のキースイッチは再生できる範囲を最大化するために低いキーに設定されており、これは内部では変更できません。ただし、場合によっては、キースイッチを操作するためにそれらのスイッチを別のキーボード範囲にシフトする必要があります。また、MIDI コントローラーを使用してエクスプレッションを選択したい場合もあります。これを行なうには、キースイッチモードを「**Remapped**」または「**Controller**」のいずれかに切り替えます。内部キースイッチの割り当ては選択したキースイッチモードの影響を受けることなく、常に機能します。最後に受信するキースイッチが常に優先されます。

オプションメニュー

使用するキースイッチモードを定義するには、「**Expressions**」セクションの右上にある三角形をクリックして**オプション**ポップアップメニューを開き、モードを選択します。



Key switch

内部キースイッチの割り当てを使用します。キースイッチはリストに表示されます。

Remapped

固定された内部キースイッチの割り当てを MIDI キーボードで再生できる範囲に移動できます。

- 内部キースイッチを移調するには、モードを「**Remapped**」に設定して、エクスプレッションを再度割り当てる MIDI ノートを入力します。キースイッチに使用される MIDI ノートは、サンプルのトリガーには使用できなくなります。

Controller

内部キースイッチをリモートコントロールする MIDI コントローラーを定義できます。指定した MIDI コントローラーは、有効なエクスプレッション間でのみ切り替わります。

- MIDI コントローラーを割り当てるには、モードを「**Controller**」に設定して再度**オプション**ポップアップメニューを開き、「**Learn CC**」を選択してハードウェアコントローラーを使用します。

Temporary KS Mode

このオプションをオンにすると、デフォルト以外のエクスプレッションは、対応するキースイッチが押されている間だけ有効になります。これにより、キースイッチを押すと“一時的に”ノートに他のエクスプレッションがかかり、キースイッチを放すと自動的にデフォルトのエクスプレッションに戻ります。

Default Expression

「**Temporary KS Mode**」で使用するデフォルトのエクスプレッションおよびプログラムまたはレイヤーをロードしたあとに有効になるエクスプレッションを設定します。

Voice & Pitch

エクスプレッションのチューニングを行なえます。

Octave

チューニングをオクターブ単位で調整します。

Coarse

チューニングを半音単位で調整します。

Fine

チューニングをセント単位で微調整します。

「Expression Mode」 オプションと 「Expression Controller」 オプション

HALion Symphonic Orchestra のレイヤーは、楽器の全ダイナミックレンジを再現するための複数のベロシティーサブレイヤーで構成されています。これらのサブレイヤーにアクセスするには、個別のベロシティー値または特定の MIDI コントローラーを送信します。「Expression Mode」では、サブレイヤーを切り替える (サブレイヤーを急に変更する) か、クロスフェードする (サブレイヤーをブレンドする) かを指定できます。

「Expression Mode」と「Expression Controller」の設定は、以下のように組み合わせることができます。

Switch + Velocity

このモードでは、ベロシティーのみでエクスペッションをコントロールします。具体的には、ベロシティー値によって対応するレイヤーが選択されます。つまり、ベロシティー値が大きければフォルティッシモレイヤーが再生されるといった具合です。これはインストゥルメントの通常の使い方ではありませんが、サンプラーや他のキーボードのオーケストラサウンドを使用するキーボード奏者にとっては一般的な演奏方法です。

補足

このモードでは、連続的なエクスペッションコントロールはできません。

Fade + Velocity

このモードでは、ベロシティーのみでエクスペッションをコントロールします。ただし、2つのレイヤーをクロスフェードして移行をなめらかに行なうためのベロシティー範囲があります。

Fade + MIDI コントローラー

このモードでは、特定の MIDI コントローラーを使用して異なるレイヤーをブレンドできます (ピアノッシモからフォルティッシモに移行するなど)。これにより、最も本格的なサウンドと動作を得られます。ただし、サウンドが聴こえるかどうかに関わらず、すべてのレイヤーを同時に再生する必要があるため、CPU とハードディスクへの負荷も最も大きくなります。たとえば、バイオリンプログラムでは、ノート 1 つにつき最大 4 つのステレオボイスが再生されます。

Switch + MIDI コントローラー

このモードでは、エクスペッションコントローラーが互いにブレンドされるのではなく、レイヤーからレイヤーへと切り替わります。ただし、ボリュームは連続的にコントロールされます。移行部分が聴こえてしまうというデメリットがあるかわりに、ノート 1 つにつきステレオボイスが 1 つしか使用されないため、性能の良くないシステムでもプログラムを使用できるという大きなメリットがあります。

「Amplifier」 セクション

「Amplifier」セクションでは、エクスペッションのレベルとパンを設定できます。すべてのサンプルはステレオで録音されているため、パンで定位を設定する前に音の広がる幅を調節することができます。

さらに、ボリュームエンベロープのアタックタイムとリリースタイムを個別に調節できます。

Level

エクスプレッションのラウドネスを調節します。

Pan

ステレオ領域内のエクスプレッションの定位を指定します。

Width

サンプルのステレオイメージの幅をコントロールします。

Attack

ボリュームエンベロープのアタックタイムをオフセットします。正の値に設定するとアタックタイムが長くなり、負の値に設定するとアタックタイムが短くなります。

Release

ボリュームエンベロープのディケイタイムをオフセットします。正の値に設定するとディケイタイムが長くなり、負の値に設定するとディケイタイムが短くなります。

「Options」 ページ

「Options」 ページでは、プログラムに使用できる2つの表現のコントロール方法をグローバルに定義できます。その2つの表現とは、「Expression」と「Espressivo」です。

- このページを開くには、ウィンドウの右上にある「Options」ボタンをクリックします。



これらの表現は、MIDI コントローラー、ペロシティー、またはノートエクスプレッションコントローラーを使用してコントロールできます。これらのソースは個々のカーブを通して送信できます。

- コントローラーを割り当てるには、「Expression」または「Espressivo」のポップアップメニューを開き、MIDI コントローラー、ノートエクスプレッションコントローラー、またはペロシティーを選択します。

プログラムが「Espressivo」を使用しない場合、コントローラーは割り当てられません。コントローラーをあとから割り当てても効果はありません。

カーブエディター

カーブエディターでは、受信したコントローラーデータを変換できます (直線から対数または指数動作に変換するなど)。コントローラーの割り当てごとに個別のカーブを設定でき、カーブエディターには現在選択しているコントローラーの設定が表示されます。

- コントローラーの設定を調節するには、「Expression」または「Espressivo」の右にある「Curve」ボタンをクリックします。

カーブエディターにはさまざまなカーブの形状が用意されており、右側の各カーブボタンをクリックして選択できます。

- オリジナルのカーブを設定するには、左の列の一番下にある「**Custom curve**」をクリックします。

カスタムプリセットを選択した場合は、マウスを使ってカーブをグラフィカルに編集できます。

- 新しいノードを挿入するには、エディター内をダブルクリックします。
- ノードを削除するには、そのノードをダブルクリックします。
- カーブの基本的な形状を調節するには、ノードを新しい位置にドラッグします。
- カーブ特性を変更するには、ノードの間の線を上または下にドラッグします。
- カスタムカーブをカーブプリセットとして保存するには、プリセットコントロールを使用します。

Pitch Bend

「**Pitch Bend**」パラメーターを使用すると、キーボードのピッチベンドホイールでピッチベンド量を定義できます。「**Up**」と「**Down**」それぞれの方向に範囲を個別に定義できます (-48 から +24 半音)。

Alternation Enable Key

HALion Symphonic Orchestra のプログラムの多くは、アップボウとダウンボウの切り替えなどを実現するために、交互レイヤーを使用します。演奏中に簡単にオン/オフを切り替えられるよう、初期設定では、このオプションが特定のキーに割り当てられています。このキーは、キーボード上に赤色で表示されます。

「**Enable Alternation Key**」値フィールドをクリックして、ノートを発音するか、新しいノートナンバーまたはノート名を入力することでキーの割り当てを変更できます。交互レイヤーが含まれていないプログラムでは、「**Enable Alternation Key**」パラメーターを使用できません。

キースイッチの割り当て

キー	弦楽器 (合奏)	弦楽器 (ソロ)	木管楽器	金管楽器	打楽器
A-1	トリル (全音)	トリル (全音)	トリル (全音)	レガート (デフォルト)	
A#-1	スピッカート/スタッカート	スピッカート/スタッカート	スタッカート	スタッカート	
B-1	トリル (半音)	トリル (半音)	トリル (半音)		
C0	トレモロ/トレモロ アクセント	トレモロ/トレモロ アクセント	クレッシェンド/ デクレッシェンド	クレッシェンド/ デクレッシェンド	ロール
C#0	ピチカート (タイ ト)	ピチカート	アクセント	アクセント	
D0		オルナメント HT	オルナメント HT		
D#0	ピチカート (ルーズ)	クレッシェンド/ デクレッシェンド		ディミヌエンド	
E0		オルナメント WT	オルナメント WT		

キー	弦楽器 (合奏)	弦楽器 (ソロ)	木管楽器	金管楽器	打楽器
F0	エスプレッシーボ	ロング (ファストでない)			
F#0	レガート (デフォルト)	ロングファスト (デフォルト)	レガート (デフォルト)		デフォルト
G0		ショートダウン			
G#0		ショート交互オン/オフ			
A0	ポルタメント dn	ショートアップ			
A#0	ポルタメント oct				
B0	ポルタメント up				
